

2018 年度（平成 30 年度）

研究部門名 地球科学研究部門

領域名 地球表層科学領域

教員名 宮内 崇裕

電子メール tmiya 理 faculty.chiba-u.jp

(1) 研究論文などのリスト (印刷中を含む)

	著者・発表者等	タイトル	発表雑誌・会合等	巻・号	頁	発行・発表年等	掲載論文の DOI(付与されている場合)
(1)	Noda,A., <u>Miyauchi,T.</u> , Sato,T. and Matsu'ura, M.	Modelling and simulation of Holocene marine terrace development in Boso Peninsula, central Japan	Tectonophysics	731-732	pp.139-154	2018 年 4 月	doi.org/10.1016/j.tecto.2018.03.008
(2)	阿部恒 平・今泉俊 文・黒澤英 樹・小坂英 輝・楳原京 子・三輪敦 志・ <u>宮内崇 裕</u>	人工改変 に伴い新 たに見つ かった 1896 年 陸羽地震 の断層露 頭	活断層研究	49 号	pp.23-30	2018 年 9 月 30 日	
(3)	<u>宮内崇 裕</u> ・石山達 也・岡田篤 正	1:25,000 活断層図 山断層帯 とその周 辺「宮津」 および解 説書	国土地理院		D1-No.886	2018 年 7 月	

(4)	岡田真	1:25,000	国土地理院		D1-No.886	2018
	介・石山達	活断層図				年 7
	也・宮内崇	山断層帯				月
	裕・岡田篤 正	とその周 辺「大江 山」およ び解説書				

**(2) 卒業研究、大学院修士および博士論文修了指導人数**

- ・卒業研究                   2名
- ・大学院修士                2名
- ・大学院博士                0名

**(3) 教育業績（自己申告、テキストの作成など、授業の工夫など）**

担当科目を順調に実施した。

(普遍教育)地域コア科目「地域の地学的背景を知る」(COCプロジェクト対応科目)

(学部専門科目)地学基礎実験 A, 地球科学英語, 地球科学入門 B, 地表動態学概論 2, 地形学Ⅱ, 地形学実験Ⅰ, 地形学実験Ⅱ, 卒業研究, 地球科学演習

(大学院博士前期課程)地形学Ⅴ, 地表動態学特論 2, 特別演習Ⅰ, 特別演習Ⅱ, 特別研究Ⅰ, 特別研究Ⅱ

(大学院博士後期課程)地形学Ⅴ, 地球環境科学専攻特別講義Ⅰ, 特別演習Ⅰ, 特別演習Ⅱ, 特別研究Ⅰ, 特別研究Ⅱ

**(4) 国際会議出席と招待リスト**

なし

**(5) 新聞や雑誌等で報道された研究成果等（報道媒体, 報道年月日, 報道内容等）**

なし

**(6) 国際並びに国内学会での受賞（賞名, その内容, 受賞理由等）**

なし

**(7) 国際共同研究（共同研究名, 研究内容等）**

なし

**(8) 地域・社会と連携した教育・研究活動, 学会、国、県などへの協力, など**

1. 独立行政法人日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員を努め, 科学研究費応募書類の審査を行った（平成 30 年 12 月 1 日～平成 31 年 11 月 30 日）。

2. 文部科学省・地震調査研究推進本部地震調査委員会委員（長期評価部会活断層分科会）：社会的・経済的に大きな影響を与える 125 の主要活断層から発生する地震の長期評価を継続的に行うとともに、それ以外の活断層を含めた地域単位の地震発生の長期評価を総合的に行った。
3. 国土交通省・国土地理院 全国活断層帯情報整備検討委員会（旧：都市圏活断層図作成調査検討委員会）委員：1995 年の阪神・淡路大震災を契機に、活断層に関する情報の整備及び公開の必要性が高まったことに応えるため、国土地理院では、人口が集中し、大地震の際に大きな被害が予想される都市域とその周辺について（平成 29 年 10 月からは全国を対象）、活断層の位置を詳細に表示した 2 万 5 千分の 1「活断層図」を平成 7 年より刊行している。本事業に活断層の専門家として参加し、平成 30 年度は 2 図副を公表した。
4. （財）地震予知総合研究振興会活断層位置形状検討ワーキンググループ委員会委員（平成 14 年 5 月より現在に至る）：文部科学省地震調査研究推進本部からの委託を受けて地震調査委員会等の審議に資するための活断層に関する位置・形状の情報の収集・解析を行った。
5. 日本活断層学会監事（平成 30 年 4 月～32 年 3 月）：幹事として理事の業務執行状況を監査し、学会の運営状況を管理する重責を担った。
6. 東京大学地震研究所「富士川断層帯における重点的な調査観測」外部評価委員，および「断層帯深部形状の評価に関する活断層調査研究」評価委員委員長を務めた（平成 30 年度）。

（9）特許（発明者名，発明の名称，出願日，出願番号，整理番号等）（現時点で公表できるもののみ）  
なし

（10）その他  
なし